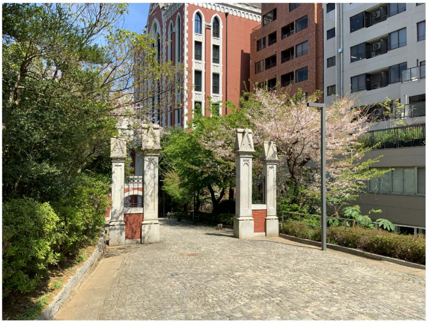
202304KeMCo

View Report

Campaign Preview　HTML Source　Plain-Text Email　Details

View this email in your browser

KeMCo



2021年にグランドオープンしたKeMCoは、4月19日で2周年を迎えます。
新型コロナウイルスの影響下で文化活動にも多くの制限がありながらも、たくさんの方々のご協力のおかげで活動することができた2年間でした。
今年に入り、人々の往来は増えつつあります。KeMCoは人々が集う空き地として、ここでたくさんの交流が生まれることを願っております。
3年目を迎えるKeMCoをどうぞよろしくお願い致します。

KeMCoの近況

【展覧会開催中】構築される「遺跡」：KeMCo建設で発掘したもの・しなかったもの

[問い] の採集
あなたの疑問・質問を教えてください
Any questions?
on objects and ideas you discovered here.

KeMCoでは、3月6日（月）より展覧会「構築される『遺跡』：KeMCo建設で発掘したもの・しなかったもの」を開催中です。
発掘調査で選択される過去の痕跡とは何か、遺跡とはどのように「構築」されるものなのか。さまざまな角度から「遺跡」「歴史」のあり方を再考する展覧会です。

展覧会会場では、発掘現場に来たつもりで展示を見て回りながら思いついたことや疑問を記録できる「野帳」を貸出しています。ご質問には、できる限り展示チームが回答致します。質問と回答は展示フロアのほか、KeMCoのTwitterでもご覧いただけます。
ギャラリートークやワークショップも、たくさんの方のご参加をお待ち申し上げております。

構築される「遺跡」：KeMCo建設で発掘したもの・しなかったもの

会期｜2023年3月6日（月）～4月27日（木）（土日祝休館）
特別開館：4月22日（土）
臨時休館：4月17日（月）
開館時間｜11:00～18:00
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
対象｜どなたでもご覧いただけます
費用｜無料（事前予約不要）

ギャラリートーク
展覧会企画者およびスタッフによるギャラリートークを行います。
各回で内容が異なります。ぜひ、ご参加ください。

・4月10日（月）13:00-14:00
安藤広道（民族学考古学研究室 教授）
・4月24日（月）13:00-14:00　［弥生～中世編］
安藤広道（民族学考古研究室 教授）
・4月24日（月）15:00-16:00　［江戸編］
岩浪雛子（民族学考古学研究室 博士課程）

どなたでもご参加いただけます。先着順（定員目安：25名程度）。

ワークショップ
遺跡構築系ロールプレイング・ワークショップ
「新米発掘員が発掘したもの、選んだもの」

日時：4月21日（金）19:00–20:30
集合場所：慶應義塾ミュージアム・コモンズ（三田キャンパス東別館）1階エントランス・ホール
対象：どなたでもご参加いただけます
人数：15人程度（申込先着順、下記フォームより詳細を確認しお申し込みください）
https://forms.gle/ix7isY1JUtZdfXxu8

KeMCo StudI/O 公開日
本展会期中、以下の日程で特別開室いたします。大山エンリコイサム氏の《FFIGURATI #314》をご覧いただけるほか、KeMCo StudI/Oの設備や活動を紹介いたします。
公開日｜4月22日（土）（特別開館日）

構築される「遺跡」：KeMCo建設で発掘したもの・しなかったもの

プロジェクト「Mita Intercept_」（山田健二）

慶應義塾ミュージアム・コモンズ建設前に発掘された遺跡を市民と学生が混交する架空の入会地として、美術家の山田健二氏により制作されたパブリック・アート「Mita Intercept_」。そのプロジェクトスペースで行われた遺物を現代にリアクティベートする為のワークショップの記録を、開かれた発掘を継続する為の映像インスタレーションとして公開しています。作品については本記事の「展示室より、推しモノ #17」でご紹介しております。
展覧会開館時間内はどなたもご覧いただけます。
4月14日（金）には、制作者の山田氏をお迎えするトークイベントも開催します。

【申し込み受付中】トーク・イベント「考古学と現代美術をめぐるミニトーク　安藤広道（慶應義塾大学文学部教授）× 山田健二（美術家）」

構築される「遺跡」
KeMCo建設で
発掘したもの・しなかったもの
in What Manner?
トークイベント
考古学と現代美術をめぐるミニトーク
安藤広道（慶應義塾大学文学部教授）× 山田健二（美術家）

現在開催中の展覧会「構築される『遺跡』：KeMCo建設で発掘したもの・しなかったもの」関連企画として、「考古学と現代美術をめぐるミニトーク　安藤広道（慶應義塾大学

文学部教授）×山田健二（美術家）」を開催します。

現在開催中の展覧会「構築される『遺跡』：KeMCo建設で発掘したもの・しなかったもの」関連企画として、「考古学と現代美術をめぐるミニトーク　安藤広道（慶應義塾大学文学部教授）×山田健二（美術家）」を開催します。

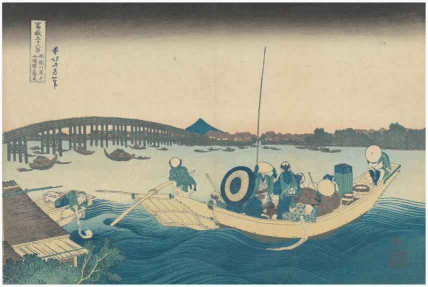
考古学と現代美術をめぐるミニトーク
安藤広道（慶應義塾大学文学部教授）× 山田健二（美術家）

登壇者｜安藤広道（慶應義塾大学文学部教授）、山田健二（美術家）
日時｜2023年4月14日（金）19：00-20：30（18：45開場）
費用｜無料、事前予約制
会場｜慶應義塾大学三田キャンパス G-Lab（東館6階）

ご予約は**こちら**

考古学と現代美術をめぐるミニトーク　安藤広道（慶應義塾大学文学部教授）× 山田健二（美術家）

【次回展】「さすが！北斎、やるな！！国芳」－浮世絵のマテリアリティ



経済学者でかつて慶應義塾の塾長（代理）を務めた高橋誠一郎の遺贈コレクション、「高橋誠一郎 浮世絵コレクション」を紹介する展覧会を開催いたします。本学主催での展示は実に14年ぶりとなります。
今回はコレクションの公開普及事業の一環として、膨大な浮世絵版画収集品のなかから、葛飾北斎と歌川国芳という、現代人にも馴染みの深い幕末期の二人の人気絵師を取り上げます。
なおこれにあわせて、両絵師とその一門の筆に成る未公開の下絵・画稿も借用し、商品として完成度の高い色鮮やかな浮世絵版画の名品とともに、生き生きとした筆遣いを伝える絵師たち渾身の自筆デッサン類の展示を通じて、江戸浮世絵のマテリアリティに迫ります。

「さすが！北斎、やるな！！国芳」－浮世絵のマテリアリティ

前期｜2023年5月15日（月）～6月13日（火）
後期｜2023年6月15日（木）～7月15日（土）
特別開館｜5月20日（土）、6月17日（土）、7月15日（土）
臨時休館｜5月22日（月）、6月14日（水）、7月3日（月）
開館時間｜11:00～18:00（土日休館）
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
対象｜どなたでもご覧いただけます
費用｜無料（事前予約不要）
主催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）、慶應義塾大学三田メディアセンター
助成｜公益財団法人　花王 芸術・科学財団

「さすが！北斎、やるな!!国芳」 －浮世絵のマテリアリティ

The KeMCo Review 01（特集：オブジェクト・ベースト・ラーニング）を発刊しました

The KeMCo Review 01
2023
Published on 31 March
ISSN 2758-7444 (print) 2758-7452 (online)
The KeMCo Review 01

慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）では、KeMCoの活動に関連する諸領域における、学内外の研究や実践を共有化してゆくための学術誌、「The KeMCo Review」（ケムコ レビュー）を、2023年3月に発刊しました。
以下のKeMCoのwebサイトにて、PDFをダウンロードしてご覧いただけます（無料）。

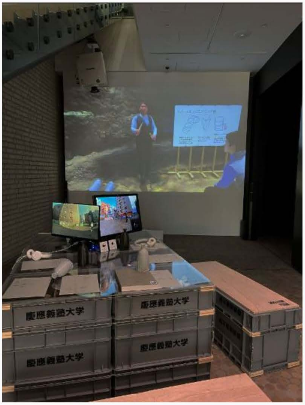
The KeMCo Review 01（特集：オブジェクト・ベースト・ラーニング）

新機構長が就任しました

2019年4月の発足時から慶應義塾ミュージアム・コモンズの機構長を務めた文学部教授 松田隆美氏に代わり、文学部教授 池谷のぞみ氏が新機構長に就任することとなりましたので、お知らせ申し上げます。

就任日｜2023年4月1日

展示室より、推しモノ #17



MITA Intercept_
山田健二
2 チャンネルビデオインスタレーション、映像（35 分23 秒）、出土品保管コンテナを活用した家具、出土した徳利の破片等

「構築される『遺跡』」展では、KeMCoの拠点である東別館の地面から発掘された考古学的資料の展示のほかに、特別企画としてアーティストと市民・学生が「遺物」にアプローチしたインスタレーション作品をご覧いただくことができます！地下の遺構や隠された歴史を紐解く表現活動を行う美術家の山田健二氏とは、発掘調査時からアート・プロジェクトを進めてきました。発掘で露わになったモノと三田地域のコミュニティの時間的重なり、さらにキャンパス内の歴史にフォーカスしていったアーティストの視点は、映像インスタレーション《MITA Interecept》として2020年のKeMCoプレビュー・イベントで公開されました。そこで生み出された遺構を活用したVR空間にある入会地が、今回の企画では集会スペースとして登場。弥生土器の破片や徳利などの発掘された遺物と現代を生きる我々の接続を、空想し語り合った市民・学生とのワークショップ「痕跡と自分のあいだ」の成果をリアルとヴァーチャルが混交する映像および空間インスタレーションとしてアーティストが作品化しました。民族学考古学研究室が普段活用しているコンテナを用いた家具に座りながらご鑑賞いただけます。土の中から発掘され展示室に並ぶ過去を生きた人びとの痕跡である「遺物」たちと、現在を生きる我々が交差する空間をぜひお楽しみください！

長谷川 紫穂（KeMCo所員）

空き地

慶應義塾ミュージアム・コモンズ　池谷のぞみ新機構長より、就任にあたってのメッセージをいただきました。

　松田隆美先生から、KeMCo機構長のバトンを受け取ることになりました。松田先生と副機構長の渡部先生、関秀行現メディアセンター本部事務長、そして吉見俊哉先生をシンポジウム（2021年三田図書館・情報学会研究大会）のコーディネータとしてお迎えしたことが私とKeMCoとの本格的な出会いでした。「空き地」という場の魅力に引き寄せられたという感じでしょうか。この度、引き継ぎの一環でKeMCoのみなさんのお話を伺っていくうちに、いかに多くの努力の積み重ねによって「空き地」としての魅力を失わないようにすることができているかがわかりました。そして「空き地」というコンセプトを核にしているからこそ、Keio Object Hubという形でデジタルでも慶應義塾が持つ文化財を広く世界の方々に魅力的に提示できるのだということも。こうしたことが見えてくると、松田先生からいただいたバトンはますます重く感じられるのですが、今年の干支でもある私が大好きなうさぎのように目を見開き、耳を立て、必要な時には素早く動けるようにしていきたいと思います。

池谷 のぞみ（KeMCo機構長）

お知らせ

三田でご覧いただける展示

福沢諭吉記念 慶應義塾史展示館（現在は常設展示室のみ）
開館時間｜10:00～18:00
会場｜福沢諭吉記念 慶應義塾史展示館

「EU諸国の貿易情報　～各国のミニ情報に触れてみよう～」
3月17日（金）-5月31日（水）
企画｜慶應義塾大学EU情報センター
会場｜慶應義塾大学三田メディアセンター

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら